



交通安全情報

函館中央警察署
交通第一課

日没前後の外出時には反射材を！

日没後に高齢歩行者が被害となる交通事故が多く発生しています。
日没後の交通事故防止対策の1つとして反射材の着用は有効なものになります。

反射材着用ポイント

- 靴につける
→ 車両の前照灯は街中ではロービームが多く、足下から照らされるため
- 腕などの動きのある部分につける
→ 動きのある部分につけることでドライバーからの注意を引くため
- 体の側面につける
→ 道路横断時など体の側面部分が車両のライトで照らされるため

ドライバーが気を付けること

- 交差点や横断歩道付近では歩行者の横断に注意し、入念な安全確認
- 夜間は歩行者の服装によっては見えにくい場合があるため運転に全集中
- 車両の前照灯は他の車両の迷惑にならないときには、ハイビーム

反射材で車のドライバーに
アピールするのじゃ！



反射材あり



反射材なし



靴にも反射材

